

道の駅「季楽里あさひ」

○道の駅の加工施設を活用した生産者による6次産業化に取り組む。また、診療圏人口100万人の基幹病院等と連携し、「医食農同源」をテーマに豊富な地元農水産物を活用しメニュー開発による地産地消に取り組む。

①産業振興及び地方移住等促進

道の駅を活用した商品開発による新ブランド創出とふるさと納税による特産品の情報発信



道の駅直売所の売り場から見える、道の駅の加工室による商品開発



県内1位の算出額を誇る産物の数々(全国でもトップクラス)

産業振興 特産品開発とブランド化		交流・連携 交流機会の創出		防災 情報発信機能強化		地方移住等促進 ふるさと納税との連携	
駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別	
季楽里あさひ	千葉県	旭市	市道1級59号線	新設	平成27年度	単独型	

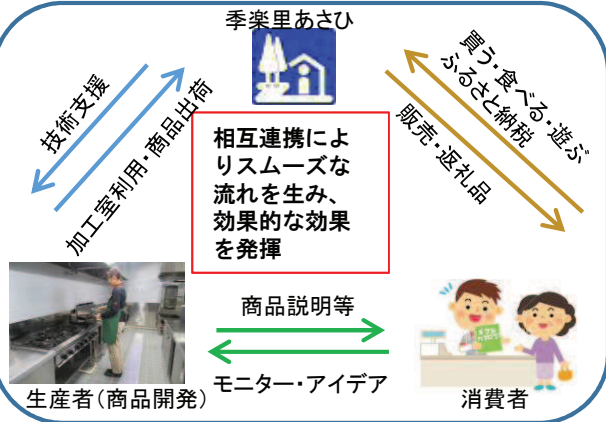


情報発信拠点である「道の駅」で展示・販売し、販路確保と知名度アップ



あなたとふるさとをつなぐ
ふるさと納税

ふるさと納税により広域的かつ効率的な周知



②交流・連携

地元農業高校と連携・屋外ステージ活用による交流創出

総合病院と共同開発・地元の産物を活用した「医食農同源」による振興

③情報発信機能強化

WiFiを活用した各種情報発信

ステージや芝生広場を活用したイベントの実施

多数の来場者がふれあう



地元学校による演奏



農業高校と連携

旭農業高校

道の駅での対面販売



旭中央病院管理栄養士がレシピ開発をし、メニュー内容を来場者に説明

診療圏100万人の旭中央病院



情報発信機能強化



<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅において開発から販売まで一貫して実施
- 開発から販売までの技術的支援を行い生産者をバックアップ
- 県下唯一の農業高校との連携による農業後継者育成や、屋外ステージを活用し様々なイベントを開催することにより、市民の芸能発表の場と交流機会を創出
- 千葉県東部(茨城県南部含む)の基幹病院との連携したメニューを「道の駅」で提供

<実施内容>

- 産業振興(一部地方移住等促進)
 - ・道の駅直売スペースから加工室が可視であるため、消費者にPRしながら商品開発することが可能。(道の駅において販売実践・ふるさと納税返礼品でPR)
- 交流・連携(地域振興)
 - ・農業高校の生徒によるPR・販売、屋外ステージイベントでの交流機会の創出
 - ・総合病院の管理栄養士がレストランメニュー開発し道の駅で提供
- 情報発信・・・WiFiを活用した各種情報、災害情報の情報発信機能強化